

市展にお出かけを

第5回新津市美術展覧会が、10日から
始まります。

▶とき…10日～12日の午前9時から午後
6時まで

▶ところ…市民会館
なお12日の午後2時から、同じく市
民会館で「部門別懇談会」も開かれます。

3回目の文芸祭も

今年で3回目を迎える「文芸祭」です
が、10日、市展のテブカットに合わせ
て「文芸にいつ」第3号が発表されます。

この「文芸にいつ」は、1,000部ほど
印刷して、時価額布(500円くらいの予
定)します。お求めください。市内の各
書店にお願いして店頭で置かせてもら
(予定)ほか、公民館でも取扱います。

なお「文芸祭記念講演」が、23日の午
後1時30分から視聴覚ホール(図書館2
階)で開かれます。講師は斎藤文一氏(新
潟大学教授)で、講演のテーマは「宮沢
賢治と天然」です。

伝統の新津菊まつり

1日からは、いよいよ伝統の新津菊ま
つりが始まりました。お出かけください。

▶とき…1日～15日
▶ところ…堀出神社境内

公民館分館の文化祭行事も

またこのほかにも、公民館の各分館で、
その地域の特色を生かした文化祭行事が
行われます。お出かけください。

▷金津分館(金津小)…2・3日 ▷三興野
分館(北上公会堂、下興野公会堂)…1
～3日 ▷阿賀分館(阿賀小)…3日 ▷東
部分館(飯柳公会堂)…2・3日 ▷結分館
(結幼稚園)…3・4日

婦連協で読
書推進運動

新津市婦人団体連絡協議会
では、毎月第二水曜日を「読
書の日」と決めて、読書推進
運動を進めています。この読
書の日は、婦人会のみさ
ながら図書館に集まっていた



説明をうけたあと、さっそく
本を借りる婦人会のみなさん

だいて読書指導を受けたり、
講演会を開くことにしている
そうです。

先月十一日には第一回目の
集いが開かれ、六十人ほどの
人が参加。図書館の職員の説
明を聞いた後、さっそく思い
思いの本を借りていきました。
なお今月は次の日程で講演
会が開かれますが、同会では

角田さんを迎え
て読書の集い

今月の九日まで「読書週間」
です。これにちなんで図書館
では、当市出身の児童文学者
の角田光男さんを迎えて「読
書の集い」を開きます。ご参
加ください。十一月六日の午前十
時から正午まで

視聴覚ホール(図
書館二階)

演題:「童話のころ」

ではここで、角田さんをご
紹介しましょう。

角田さんは、大正十三年、
新津市中野の生まれです。か
つては市内の小学校の先生を
されていたため、十年ほど
前に作家活動のため上京。現
在は東京で児童文学作家とし
て活躍されています。おもな
著者に「やぶれだいたい鬼だ
いこ」「まるはなてんぐとな
がはなてんぐ」などがあります。

力作がずらり

「おもしろかった
本の絵」の展示会

いま図書館展示室で「おも
しろかった本の絵」を六日ま
で展示しています。
子どもたちの力作百点あま

川柳展

故人の著名川柳家をはじめ
現役作家の半折、色紙、短冊
その他の作品を展示します。
□とき…十一月十日～十二日
の午前九時三十分から午後五
時まで
□ところ…図書館二階展示室

今月の読書会

□とき…十一月九日(木)の
午前十時から正午まで
□ところ…図書館読書室
□テーマ…瀬戸内晴美「妻と
女の関

米沢藩の新津陣屋は旧
正法寺と新町の大和屋

(3)

前に戊辰の年の新津村帳簿
に因んで、米沢藩の越後方面
軍が総督色部長門に引率され
て、五月十九日から廿六日迄
宿陣し、新津村に本陣を設け
たことを、「米沢藩参謀甘粕
備後維成日記」によって紹介
したのであるが、それには、
この本陣を何処に置いたかと
いう記載がなかった。

それで私は「広報にいつ」
第二十七号において、
「その陣屋となつた場所は、
常識的に推定すると、司令
部は村役人のいた大庄屋の
桂本邸(今の新津郵便局、
電信局の辺)、その他の多
くの土卒は、直ぐ附近の旧
正法寺(今の市役所の附近、
その他の民家に分宿したもの
のと考えられる。と
と記して置いたのだった。
ところが、最近、越後御出勢
日記(米沢図書館蔵、写本)
を見て、右の疑問を氷解する
ことができた。

右の筆者は土士ではなく、
色部長門の郎党の御馬脇の石
山源内で、この日記は米沢出
勢

発の日から記されているが、
新津村到着の前日から示し
てみよう。なお、甚だしい誤
字や当字は訂正して、短注を
附記してみた。

(五月十八日)
五ツ時分(午前八時頃)御
出立、篋間に御登、御泊
水原、市島徳次郎。

右は町家より二丁ばかり
裏にて百姓家に御座候へど
も美々しき家作に候。上段
巻間四拾八畳、此家へハツ
時分(午後二時頃)御着き

(右に「同廿三日迄御宿陣」
とあるから、この日記は多少
のメモを基にして、後から書
いたものであろう。したがっ
て、「平島」というのは或い
は記憶の誤りかも知れず、今
の地図では見当たらない。だ
が、曹洞宗正法寺というのは
確かで、戊辰の頃、この正法
寺は旧四の町西側、帯に敷地
のあった旧正法寺で、今は新
津市立図書館蔵の「明治初年
の新津村地図」によって、そ
の位置を知ることができる。

甘粕備後の「北越日記」に
よると、十八日の条に、
「是地、水原に」(会津の本
陣あり、家老西郷勇左衛門
之に居り、其外諸藩の重役
多く軍奉行居る。是夜勇左衛
門、車奉行日向左伝、及
庄内藩の石原多門、石原友
大夫等市島本陣に米り軍議
す。

(五月十九日、雨)
五ツ時分御出立、平島にて
御登通、新津御宿陣、
曹洞宗、正法寺。
右へ同廿三日迄御宿陣。

阿達義雄

視していた新発田藩側であつ
たからである。
最近の調べによると、新津
は同盟軍、特に米沢藩の銃器
弾薬の貯蔵所であった。即
ち、新津から銃器弾薬を、或
時は新潟に、また或時は加茂
見附方面に運んでいたのだ
とあり、米沢藩主が駐屯
の際には、正法寺もさぞ厄介
なことであつたろうが、総督
色部長門には好意をもってい
たことが知られる。

「同聚新町大和屋新七と申
す旅籠屋へ御引移りに相成
り申候」(越後御出勢日記)
この新町大和屋というのは、
明治大正の頃は貸座敷・遊
女屋になっていたと記憶す
るが、現在の小出医院のある
所である。これについては
私が最近入手した「色部長門
日記」五月廿三日の条にも、
○本陣昼後より大和屋へ移
す。

○弥彦に当り大砲の声おび
たし。

結婚祝に花束を
ウェディング・ブーケ 御両親用花束
新婚旅行用ブーケ コサージュ
(株)川名花店 03-1187(代)
本町3丁目

御誕生祝から……御仏事まで
いけばな材料・盛簗・花束
新町1丁目大橋キワ
小林生花店
TEL 2-1080・2-5707
(各流派いけばな教室案内所)

《新発売》 いくつかのふるさと「幸清水」を新しい感覚で開発しました
幸清水 1ヶ100円
小豆をフレッシュバターで焼いたケーキです
抹茶の香りのするケーキです
冷蔵庫で冷たくしてめしあがるとおいしいです
ホイルで焼いたため日持のよいケーキです
Osakaya 本町2 TEL. 2-0112